



## 防災

尾嶋一雄 議員 (TSUNAGU)

## 罹災証明書の発行手続きは

答弁…他市町村の協力を得て遅滞なく発行する

**問** 罹災証明書の発行手続きや被害状況の調査は、誰がどのように行い、想定される発行までの期間はどのくらいか。また、他の自治体等との協定締結などの協力体制はできているか。

**答** 罹災証明書は、市が家屋の被災程度を調査し遅滞なく発行する。発行に要する期間は、順調であれば1か月以内を想定し、災害規模や被災状況によっては、さらに日数がかかる。協力体制は、県内全市町村や友好都市の君津市と職員派遣の協定を締結している。



罹災証明書の申請の流れ

## 教育

学校教育における  
主権者教育の取組は

答弁…今後も主権者教育の充実を推進する

**問** 現在、市内小・中学校で取り組んでいる具体的な主権者教育はあるか。また、新しい取組として、千葉県酒々井町で実施している「こども模擬選挙」や「こども模擬議会」を行うことはできないか。

**答** 各中学校では生徒会役員選挙において、校内に選挙管理委員会を立ち上げ、選挙運動を実施したり、市選挙管理委員会から投票箱や記載台、腕章を借りて実施したりしている。また、今後は関係各課と連携し、先進自治体の事例を参考に、研究していく。



## 振興

遠藤誠 議員 (WAKABA)

イチゴノオカ白岡、  
梨の里白岡

答弁…柔軟な発想で市をPRしていく

**問** 市内の2つの駅名に、いちごや梨に関する言葉を入れたらどうか。もちろん、この名にふさわしい事業を成功させるのは当たり前だ。

また、企業の支店支社の名前にもいちごや梨を入れるようにお話ししては。〇〇銀行イチゴノオカ白岡支店、素敵ではないか。

**答** 市の知名度や市民満足度の向上、定住促進などにもつながるユニークな提案である。行政だけでなく民間企業などと一体で市をPRすることは有効な方法である。市のイメージが変わるような機会には、柔軟な発想でシティプロモーションに取り組んでいく。



## 福祉

## ワーク、ライフ&amp;ケア

答弁…市民レベルでの理解を広げていく

**問** ヤングケアラーがわかりやすい言葉だが、オールドケアラーもミドルケアラーもあふれている。

ケアは誰でもされる、していることだ。ケアの多くは女性の仕事として軽視されている。市の業務をケアの視点で見直す時期ではないか。

**答** ヤングケアラーの背景には、家庭内の問題であることから発見の難しさがある。子どもの状況等に早期に気づき、必要な支援につなぐため、職員レベルにとどめず、ヤングケアラーへの理解を深められるよう普及啓発を行い、市民レベルでの理解を広げていきたい。